

2020年8月25日
株式会社ボナック

新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発について 進捗状況の報告

株式会社ボナックは、今年5月18日に福岡県と覚書を締結し、6月1日より福岡県保健環境研究所と新型コロナウイルス感染症治療薬の共同研究を実施してまいりました。

共同研究開始以後、これまでに72種類の候補となる核酸医薬を設計・合成し、実際の新型コロナウイルスに対する効果を細胞を用いた試験で検証した結果、10種類の候補薬で、新型コロナウイルスの増殖を顕著に抑制する効果が確認されました。これにより、新型コロナウイルス感染症に対する核酸医薬の有効性が明らかとなりました。

当初、2021年3月までに候補薬の絞り込みを行う計画でしたが、研究が順調に進み、新型コロナウイルスの顕著な増殖抑制効果が確認された10種類の候補薬の中から、更に体内での安定性が高く、少量でも効果が期待できる3種類の候補薬にまで絞り込みを行うことができました。

今後、速やかに有効性を確認するための非臨床試験を進め、3種類の核酸医薬品の候補をさらに絞り込んだ後、安全性を確認する非臨床試験を行い、来年度中にはヒトでの臨床試験（治験）に入る予定です。

今回の共同研究の成果により、新型コロナウイルスに対する核酸医薬の有効性が明らかになったほかに、新型コロナウイルスと類似するコロナウイルスによる感染症であり、現在も治療薬が無いMERS（中東呼吸器症候群）やSARS（重症急性呼吸器症候群）に対しても有効な治療薬の開発できる可能性が示されました。

我々は、これまでの新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発をさらに拡大させると同時に、MERSやSARSの治療の開発にも着手することにいたしました。今後、本研究開発には、長崎大学熱帯医学研究所、東京医科大学に参画いただけることが決定しており、更に研究を加速させたいと考えております。

ボナックでは福岡県、久留米市のご支援をいただきながら迅速に研究開発を進め、革新的核酸医薬を一日でも早く皆様にお届けすることを目指します。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ボナック コーポレート本部 TEL. 092-713-8801